

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、Ⅲ、V】
2 実施対象者	札幌市立平岡小学校 6学年児童 64名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・6学年の総合的な学習における「進路探究学習」の一環として、夢の実現に向かって努力した人との出会いを通じ、自分の将来についての考えを具体的に深めていくための視点をもつ。 ・自分の考えの変化やパラリンピアンの気持ちを学ぶ中で、自分自身の人や社会への接し方を見つめ直す機会とする。
5 取組内容	講師の加藤弘さんについての事前情報（視覚障がい、パラリンピック、クロスカントリースキー等）から、今回の交流を通して学ぶべきこと・学びたいことを考え、個々が聞いてみたいことを用意しておく。 講演会では、講師の話を聴くことに加えて、児童の質問や疑問を講師に訊ねる時間も設定する。 講演後は、教室で感想を記述し交流する。 ○指導計画 [3時間扱い] [総合的な学習6年「未来の自分を考えよう」全体25時間の23～25/25] ・事前に講演を依頼する冬季パラリンピアンについての調べ学習を行い、視覚障がいやパラリンピック等についての理解を深める。 ・加藤弘氏による講演会 ・講演会での交流を通して学んだこと、感想等をまとめる。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・講師の決定が直前であったため、この学習に臨む準備に余裕をもって取り組むことができなかった。事前にお会いして打ち合わせなどができれば、より有意義な学習の流れを考えることができたであろう。 ・学年便りで保護者の参観も呼びかけたが、当日の参観者は少なく残念であった。保護者や地域住民の方にも参加していただき、児童が家庭等で話し合うことで、さらに学びが深まるものとする。学校における保護者や地域住民への周知のためにも、日程、講師等の早い時期での決定を願うところである。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。